



たいがいしょうげきは どうつうちりょう 体外衝撃波 疼痛治療

What?

体外衝撃波治療とは

体外から患部に衝撃波を当てて疼痛をとる新しい治療法です。ヨーロッパを中心に普及し、近年、欧米ではスポーツ選手にも広く利用されています。低侵襲で安全かつ有効な治療法として足底筋膜炎や腱付着部障害、骨性疾患においても低出力の衝撃波が利用されるようになりました。一点に集中させた衝撃波を皮膚の上（体外）から患部に照射することで、痛みを感じている部分だけに反応して痛みを感じないようにします。（痛みを誘発している神経の終末部を変性・破壊）さらに血の巡りも良くなることで痛んだ部分の修復を促します。（局所的に新たに組織の修復・再生を促す）



衝撃波とは何ですか？

衝撃波とは高出力の音波のことで、自然界では雷や火山の爆発によって生じるものです。急激に最大圧力まで立ち上がり、大きな力を瞬間的に与える事ができるのが特徴です。医療の領域では、衝撃波は1980年代から腎結石を破碎する際に使用されました。現代の疼痛治療においては、結石破碎装置の約10分の1の出力が使用されています。衝撃波は痛みの部位に照射され、治癒効果を生じさせます。

詳しくは・・・

動画 をCHECK YouTube

実際の治療の様子など、わかりやすく動画にしています。
どんな機械なの？痛みはあるの？など、なかなかイメージがでないという方も、ぜひご覧ください！
Youtubeで「足と歩行の診療所」で検索



体外衝撃波疼痛治療の特徴

- ・照射直後からの除痛効果(個人差があります)
- ・麻酔する必要がなく皮膚に傷をつけずに治療が可能
- ・短時間&日帰りで行える(1部位1回15分程度)
- ・入浴制限なし
- ・難治性足底筋膜炎の場合は保険が適用される

対象となる疾患

日本国内では医療機関を受診して保存療法を6ヶ月以上受けて効果がみられない難治性の足底筋膜炎のみ保険適応となっています。難治性足底筋膜炎以外にも、国際整形外科体外衝撃波学会(ISMST)では下記の疾患が体外衝撃波治療の適応疾患と認められていますがいずれも保険外診療(自費)となります。

- (足部) 足底筋膜炎・アキレス腱炎・アキレス腱付着部炎
- (膝) 膝蓋腱炎
- (肘) 上腕骨外側上顆炎(テニス肘)・内側上顆炎
- (肩) 石灰沈着性・石灰沈着性腱板炎・腱板炎
- (骨折) 偽関節・疲労骨折
- (その他) 早期の無腐性骨壊死・早期の離断性骨軟骨炎

料金

(保険適用)

算定点数・・・1箇所 5000点=3割負担¥15,000
1割負担¥5,000

※3ヶ月間で一連とみなす為、初回治療時に算定し、2回目からは再診料のみの算定となります(診察内容によって変動する場合あり)

(自費) 初回・・・¥10,000(税抜)/1箇所

2回目以降・・・¥5,000(税抜)/1箇所

※再診料等診察費は別途発生します

治療を行う頻度

衝撃波を当てたあと、およそ1週間ほどかけて傷んだ組織を修復・再生すると言われています。そのため1週間に1度程度で治療を行うことが効果的です。(治療経過に応じて変動する場合あり)

